Line Spectrum Pair (LSP) for high-compression speech coding, 1975

高圧縮音声符号化のための線スペクトル対(LSP)、1975

東京支部

1975 年に NTT で考案された線スペクトル対は、音声合成や符号化のための重要な技術である。 1980 年には線スペクトル対に基づく音声合成チップが作成された。1990 年代には、この技術はほぼすべての 国際音声符号化標準に必須の要素技術として採用され、世界中の移動体やインターネットでのデジタル音声 通信の高品質化に貢献した。

Citation(銘板に鋳込まれた碑文)

Line Spectrum Pair, invented at NTT in 1975, is an important technology for speech synthesis and coding. A speech synthesizer chip was designed based on Line Spectrum Pair in 1980. In the 1990s, this technology was adopted in almost all international speech coding standards as an essential component and has contributed to the enhancement of digital speech communication over mobile channels and the Internet worldwide.



IEEE J.Roberto de Marca 会長から 銘板を受け取る NTT 鵜浦社長



銘板に刻まれた Citation



贈呈式の写真

受賞の経過

- 1) Proposal Form 提出: 2012 年 12 月 28 日
- 2) 同承認: 2013 年 5 月 31 日
- 3) History Committee 承認: 2013 年 8 月 14 日
- 4) Board of Directors 承認: 2014 年 1 月 21 日
- 5) 贈呈式、記念祝賀会、記念講演会:

2014年5月22日、パレスホテル東京